

新たな飛翔



# 青森空港

A O M O R I A I R P O R T

滑走路延長事業

更なる飛躍へ向けて 

A O M O R I 3 0 0 0



青森県



# 国境の向こうに 新たな出会いがある。

## 滑走路延長3,000m化の概要

青森空港は、平成2年3月に2,500mの滑走路が供用開始され、現在、東京をはじめ札幌、大阪、名古屋、福岡の国内定期便のみならず、ソウル、ハバロフスクへの国際定期便が就航する国際空港です。

利用客数は、平成15年度に140万人を越えるなど順調に推移し、本県の産業経済の活性化や観光の振興に大きな役割を担っています。

このような中で、平成17年4月「新たな飛翔青森空港」をキャッチフレーズに、滑走路3,000mで新しく生まれ変わりました。

## 滑走路延長3,000m化による効果

これまで

- 滑走路2,500mでは
  - ・A300型機(約290人乗り)が通年で就航。
  - ・春～秋は大型機(B747型機等)が就航可能。

滑走路  
3,000m化により  
これからは

**1. 冬季間の更なる安全性・確実性が確保されます。**

**2. 大型機材が通年で就航可能になります。**

B747-400(D)(国内便約570人乗り)や、  
B777型機(約470人乗り)等が就航可能。

**3. 国外との交流が促進されます。**

B747-400(国際便約420人乗り)等により、通年で  
海外直行便(アメリカ西海岸、ヨーロッパ等)が就航可能。



# 青森空港整備特別事業 滑走路3,000m化

AOMORI 3000

## 【施設概要】

設置・管理者	青森県	エプロン	面積 71,595.0㎡ (6バース)
飛行場の名称	青森空港 (第三種空港)	小型機駐機場	面積 9,898.0㎡ (13バース)
飛行場の位置	青森市大谷地内～ 浪岡王余魚沢地内	照明施設	進入灯、滑走路灯、 誘導路灯、エプロン灯等
飛行場告示面積	2,413,964㎡	無線施設	ILS (計器着陸装置) CAT-I VOR/DME (全方向式無線標識/ 距離測定装置)
着陸帯	長さ 3,120.0m 巾 300m		
滑走路	長さ 3,000.0m 巾 60m		
誘導路	長さ 3,506.0m 巾 30m 9m		



## 四季彩やかな 青森路

■弘前城と桜



■横浜町 菜の花



■深浦町 夕日海岸



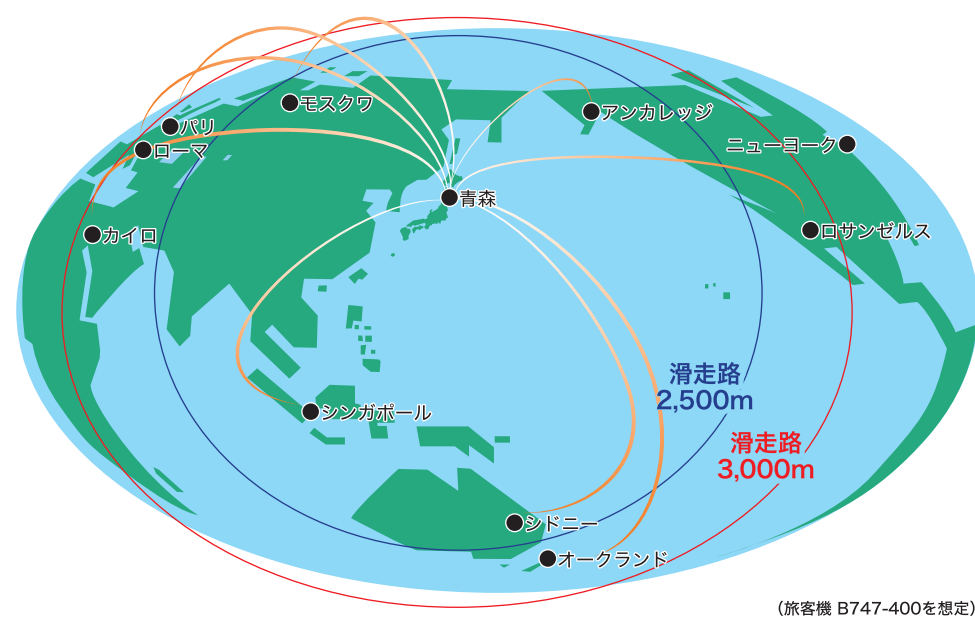
■十和田湖



■八甲田 樹氷

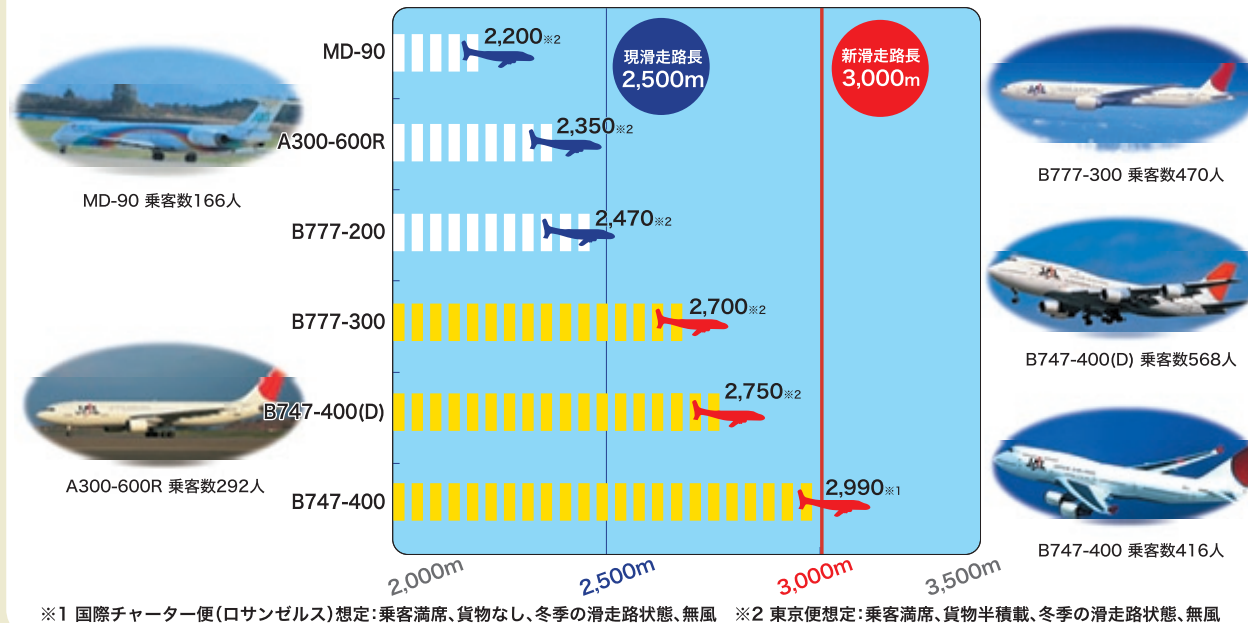


## ■青森空港から飛行可能範囲



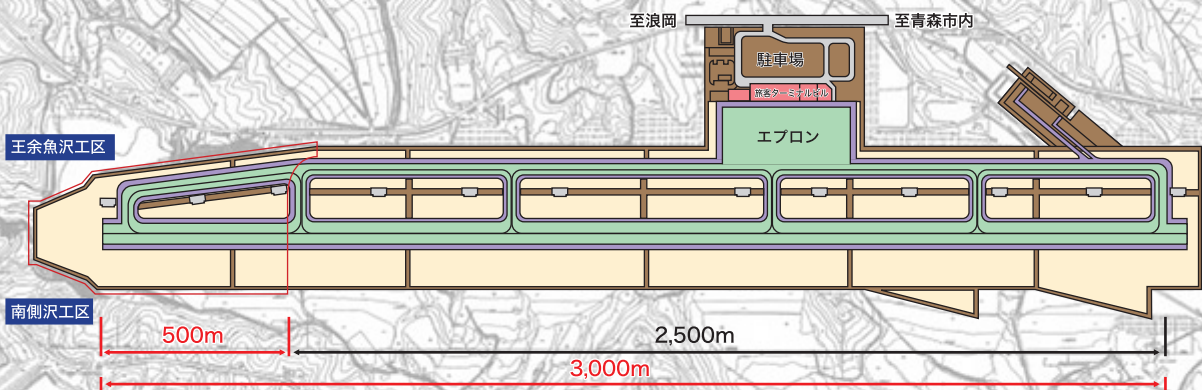
(旅客機 B747-400を想定)

## ■機材別必要滑走路長

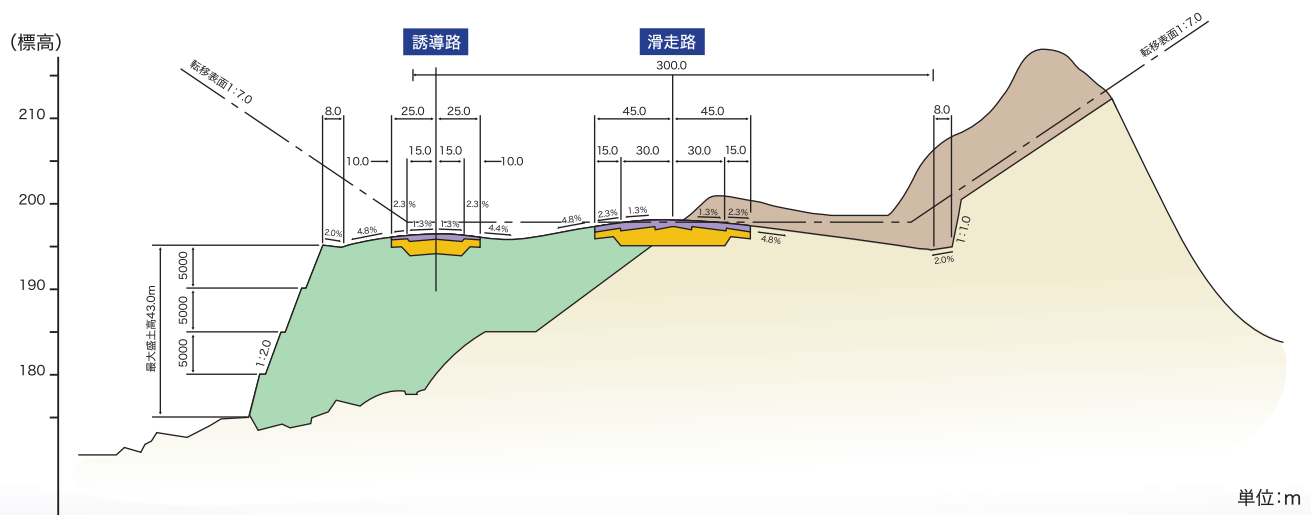




## 滑走路3,000m化工事の概要

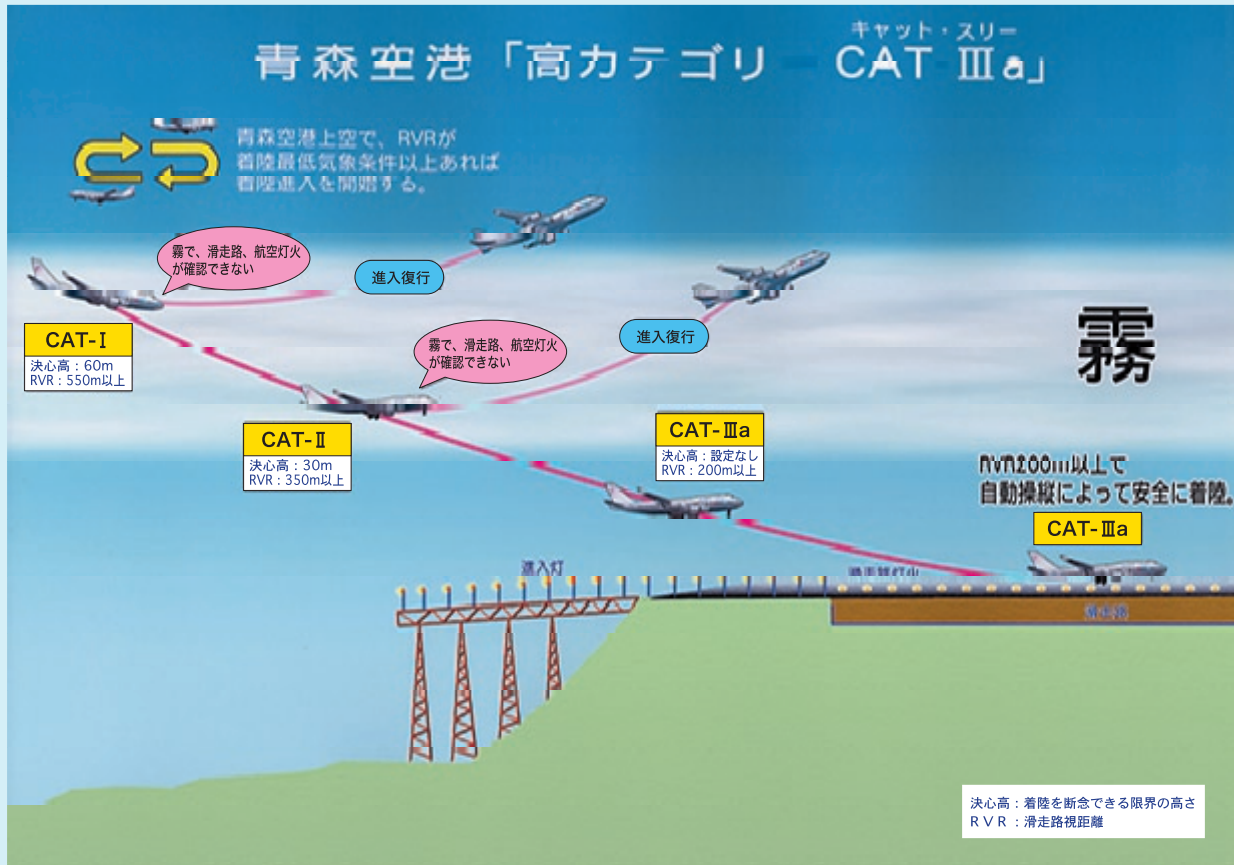


## 工事標準断面図



21世紀、新たな翼をひろげて。

# 霧を克服する



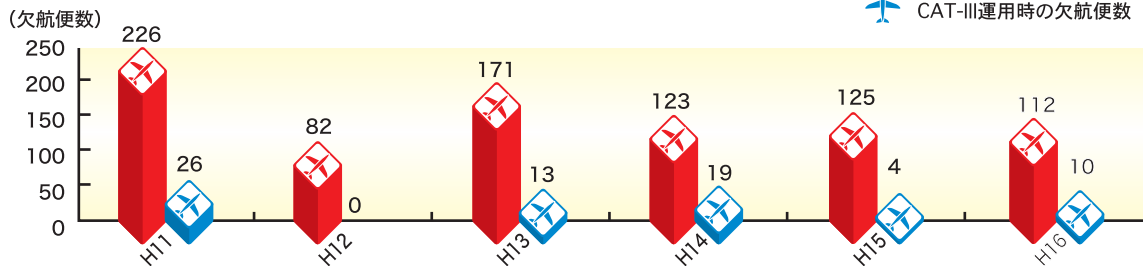
高カテゴリーCAT-IIIaの供用により、これまで霧で離着陸出来なかった便数が大幅に減少します。

高カテゴリー化(CAT-I→CAT-IIIa)  
平成18年度内の供用開始を目指す



欠航便が  
**約1/10に減少**

## ■CAT-III運用時の濃霧による欠航便の改善効果試算



## 青森県 県土整備部 港湾空港課

〒030-8570 青森市長島一丁目1番1号 TEL 017-734-9677・FAX 017-734-8194

●青森県ホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/>